

2026 年 10 月 9 日

日立、「IDC MarketScape: Japan Cloud Professional Services 2026 Vendor Assessment」においてリーダー(Leaders)に選出

株式会社日立製作所(以下、日立)は、International Data Corporation(以下、IDC)が発刊したレポート「IDC MarketScape: Japan Cloud Professional Services 2026 Vendor Assessment」(IDC #JPJ54142126、2026 年 9 月)において、リーダー(Leaders)に選出されました。

本調査レポートは、国内クラウドプロフェッショナルサービス市場において主要ベンダーを対象に、IDC MarketScape モデルに基づいて「戦略(Strategies)」および「能力(Capabilities)」の評価を行い、その分析結果を報告しています。また、IT バイヤーが、クラウドプロフェッショナルサービスベンダーを選定する際に留意すべき事項を提示しています。

IDC は本レポートにおいて、「日立の強みは、豊富なミッションクリティカルシステムの構築・運用の実績に、自らの AI の実践知を加え、『モダナイズेशन powered by Lumada』という単一ブランドの下に、業務・IT・組織の 3 つの視点からクラウドプロフェッショナルサービスを統合している点にある。これによって顧客企業は、中長期の目標を定めつつ、実績に裏打ちされたサービス群の組み合わせによって、レガシーシステムの脱却から AI 駆動型ビジネスの実現、デジタル競争力を高めるための人材育成まで、段階的かつ計画的に進められることが期待される。」と評価しています。

日立は、AI ネイティブな基幹システムへ刷新する「モダナイズेशन powered by Lumada」を 2025 年 10 月より提供^{*1}しており、2026 年 4 月に新設した組織である「Modernization CoE」を中核にモダナイズेशन事業を推進しています。また、同サービスのもと、SRE^{*2}の考え方に基づく HARC(Hitachi Application Reliability Centers)による運用変革を推進しており、近年は構想策定段階からクラウド運用設計を組み込んだ支援^{*3}も拡大しています。今後も、フロンティア AI の進化^{*4}を取り込んだ AI 駆動型のシステムインテグレーションを強化^{*5}し、お客さまの構想策定・開発・運用の現場に入り込み課題を解決する FDE チームを通じて、企業の持続的な成長に貢献していきます。

*1 2025 年 10 月 21 日 プレスリリース [AI ネイティブな基幹システムへ刷新する「モダナイズेशन powered by Lumada」を提供開始](#)

*2 Site Reliability Engineering : サイロ化されている開発チームと運用チームの壁を取り払う DevOps の実践と、ソフトウェアエンジニアリングの手法を用いることにより、システムのレジリエンス(回復性)とセキュリティを効果的に高めるためのシステム運用とサービス管理の方法論

*3 2026 年 8 月 17 日 プレスリリース [日立、日本カードネットワークの決済インフラの段階的なモダナイズेशनにおいてクラウド運用変革に参画](#)

*4 2026 年 5 月 19 日 プレスリリース [日立、Anthropic と戦略的パートナーシップを締結し、先進的な AI の活用により Lumada 3.0 を強化](#)

2026 年 6 月 17 日 プレスリリース [先進 AI を活用したモダナイズेशनの加速とサイバーセキュリティ強化に向けて OpenAI との連携を本格化](#)

*5 2026 年 7 月 24 日 プレスリリース [AI 駆動型のエンタープライズ向けシステムインテグレーションプラットフォームを開発、安全性を高め生産性を飛躍的に向上](#)

IDC MarketScape について

IDC MarketScape ベンダー評価モデルは、特定の市場における IT サプライヤー、サービスプロバイダーの競争力の概要を提供するように設計されています。この調査では、定性的および定量的な基準に基づく厳密な採点方法を用いて、特定の市場内における各企業のポジションを単一のグラフィカルな図で表現します。IDC MarketScape は、IT ベンダーの製品・サービス、能力、戦略、現在および将来における市場での成功要因を有意義に比較できる明確なフレームワークを提供します。また、このフレームワークを利用することで、IT バイヤーは、対象ベンダーの現在および将来に渡る強みと弱みを 360 度で評価できるようになります。

関連サイト

[日立のモダナイズेशन \(モダナイズेशन powered by Lumada\)](#)
[Hitachi Application Reliability Centers \(HARC\)](#)

商標注記

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所

AI&ソフトウェアサービスビジネスユニット

お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上